

4-2. 大学院医療保健学研究科（修士課程）における学生の受け入れ

目標

医療関係機関等の現場における実践能力と研究・教育・管理能力を併せ持つ高度専門職業人を育成することを目指す。

「現状及び点検・評価」

(1) 学生受け入れ方策

入学者は原則として医療関係機関等の現場における実践経験がある社会人とし、大学卒業者及び本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者のうち、大学院教育を修得しうる能力を有する者を受け入れることとしている。

① 学生募集の組織

○入学者選抜に当たっては、大学院入試事務室が大学院における入学者選抜試験の運営を担当している。また、入試面接者は研究科長会議で選任している。

○学生募集の担当組織は、大学院入試事務室が担当し広報媒体企画の選別を行っており、研究テーマの事前相談などについては、各コースの教員との連携を図り、入試個別相談会等を実施し対応している。

○入試個別相談会等の実施状況（平成 20 年度）は次のとおりである。

・入試個別相談会

8、9 月に各 1 回実施。

・その他学生の希望日に合わせた教員個別相談

9 月に 5 回実施。

・平成 21 年度（平成 22 年度生募集）は、8 月に 2 回実施、1 月に 1 回実施の予定。
その他学生の希望日に合わせた教員個別相談は随時実施の予定。

② 学生募集方法

○本学の学生募集活動は、広報媒体と大学院資料請求者（ホームページ、メールなどによる資料請求）への入試情報提供などにより実施している。

○学生募集については、修士課程は平成 21 年度では収容定員 40 名を超える 46 名を確保しており、本学の広報活動方策の成果であると評価している。

（表 44 大学院医療保健学研究科（修士課程）の在籍学生数（平成 21 年度））

(2) 入学者選抜方法等

① 本研究科のアドミッション・ポリシーに基づいて、選抜の方針を明確に定め実施している。入試は、専任教員と事務職員でそれぞれ役割を定め、入試業務が公正に実施できるよう努めている。

○入学試験

修士課程は、秋季入試（10 月）と春季入試（2 月）を実施。

募集定員は全体で 20 名、春季入試では企業派遣者を中心に若干名を募集。

- ② 入学者選抜方法
 学力試験（英語の辞書・電子辞書持込可）、面接及び書類審査により、大学院進学の目的と研究計画並びに人物等について、多面的かつ総合的に審査・評価を行っている。
- ③ 評価方法は、採点項目を学力試験、自己推薦書・研究計画書・業績調書の提出書類（以下自己推薦書等と言う）及び面接とし、それぞれの配点の合計評価点を参考として総合的に評価する。
- ④ 採点者及び採点方法は、4名（うち1名は学長）が自己推薦書等と面接の採点者となる。面接者1名が自己推薦書等と面接でそれぞれ評価点をつけ、面接者4名の合計を受験生の評価点としている。
- ⑤ 以上のことから、入学者選抜については厳正かつ公正に運営されていると評価することができる。

表 44 大学院医療保健学研究科（修士課程）の在籍学生数（平成 21 年度）

研究科	コース名	入学定員（名）	収容定員（名）	在籍学生数（名）
医療保健学研究科 （修士課程）	看護マネジメント学	全体で 20	全体で 40	22
	感染制御学			15
	医療栄養学			5
	医療保健情報学			4
合 計		20	40	46

「今後の改善・改革に向けた方策」

学生募集に当たっては、引き続き広報活動の充実に努めるとともに、社会の要請及び時代の変化に機敏に対応して工夫を行うなど、今後も入学定員の確保に努める必要がある。